



半世紀前に卒業させてもらった者にとって、神学校はなつかしい思い出いっぱいです。

入学時、大きな志を持って日本、の救霊に用いていただきたいと、新一年生の歓迎会の席上で、諸先生・先輩方を未信者・求道者にみため、新入生が路傍伝道をしました。その時は大真面目でしたが、今考えると大変失礼な事をしたと冷や汗ものです。しかし、元気だけはありました。一年を終えて新入生を迎えた時には、彼らから真面目な顔で、「神学校は天使の集団だと思って来たのに悪魔も働くのですね」と言

中央聖書神学校に期待

教団理事長 内村徹母耳

いぶき Vol. 37



われ、面食らいました。そのように言った人たちは、その後、「教会は天使の集団ではなく、悪魔の誘惑や不安を感じる所」であることが分かり、神学校での経験が役に立ったのではないかと思います。

最近になって、神学校での奉仕が増え、神学生と接する機会が多くなり、ぜひ以下のようなことを知っておいてほしいと感じるようになりました。

①「神学生は、全国のアッセンブリー教団の教職・信徒から祈られている」もちろん、出身教会の先生・諸兄弟は特に祈っているでしょう。あなた達の知らない所でも祈られているのです。

②「神学生は諸教会の方達に愛されている。」人は、祈ることによって、その人のことを愛するようになるのです。

③「全国から神学生のために多くの献金が寄せられている」3月22日、キヤラバン伝道で、神学生の皆さんが名古屋神召教会で奉仕した際には、何と礼拝献金よりも多くの献金が捧げられたのです。

神学生の皆さんは、諸教会の兄

姉の温かい祈り心・愛・献金があることをいつも覚えていてください。

④「神学生は期待されている」全国諸教会は、神学生一人ひとりが、次の教団を背負う教職となることを信じ、期待しています。神学生の皆さん！以上のことを心に覚えながら、一日一日を、主の前に充実したものとなるように生きてください。

最後に、卒業後に直面するであろう困難・失敗の時に、本当に頼りになるのは友です。この学校生活を通して、ぜひ心の友をつくってください。神学校時代は、10人を超えていた私の同級生も、時代の流れとともに減ってきました。天国に送った同級生もあり、現在、私の同期は、北野師と小石師だけになりました。この3人は、祈り合い、支え合った神学校生活を通して絆を強め、今でも互いに啓発できる、さわやかな関係が続いています。皆さんも、こんな友ができれば、伝道者生活万歳です！



静心

とりなしの祈り

3年生 相原恵子

神学校生活を通して日々感じることは、それは祈られているということ。

教室で、寮内で、学生伝道集会で、派遣先の教会で様々な恵みがあるとき、私は思う。

私たち神学生のために祈ってくださいという方がいるということを。

神学生は、人の見えるところでの奉仕が多い。しかし、私は思う。

神学生の働きを支えておられるのは、とりなしの祈りであるということ。

とりなしの祈りほど見えない奉仕はない。しかし、とりなしの祈りほど尊い奉仕もない。

学校の動き

(2008年8月～2009年4月)

【人事委員会】

2008年8月28日

【運営委員会関係】

2008年11月4日

2009年1月20日、2月17日、

3月3日、4月7日

【学校理事会関係】

2009年3月4・5日

【論集編集委員会】

2009年4月28日

【冬期派遣】

2008年11月30日、

2009年1月16日

【入学試験】第一期 2008年11月4日

第二期 2008年12月17日

【卒業式】3月3日(説教者 佐布正義師)

【入学式】4月7日(説教者 菊山校長)

【聖別会】4月8日(説教者 船津信成師)

4月9日(説教者 三宅規之師)

教師紹介

*臨時講師 和田佳士師

*教授復帰 デビデ・ハイムズ師

(2009年4月より)

中央聖書神学校入学のご案内

ATA 認定校 校長 菊山和夫

入学資格：高卒以上、召命の確信がある方

【本校入学試験】

第I期：2009年11月3日(火)

第II期：2010年2月23日(火)

【願書〆切】

第I期：2009年10月27日(火)

第II期：2010年2月16日(火)

【オープンキャンパス】2009年9月23日(火)

本校・通信科 〒170-0003

東京都豊島区駒込 3-15-20

Tel.03-3918-4925 Fax.03-3918-4064

[Http://www.cbc-j.ac.jp/](http://www.cbc-j.ac.jp/)

※通信科に関しては上記お問い合わせ下さい

編集後記

旬の話題をより新鮮なうちにお届けしたいとの思いを込めて、CBC NEWS は今号より発行時期を早め、5・10月の発行となりました。また、編集スタッフには、新入生2人が加わりました！新しくスタートした CBC NEWS を通し、また新しく CBC を知っていただくことができれば幸いです。

(小石雅枝)

CBC NEWS 2009年5月号 編集スタッフ

小石雅枝 毛利佐保

森本亮介 高山 咲

編集責任者・久保田潔師

事務局・中央聖書神学校

東海教区キャラバン伝道に行ってきました

1年に一度の伝道旅行“キャラバン伝道”。今回は、3月14日～23日の期間、東海教区16教会の内、13の教会を巡回し、様々な奉仕をさせていただきました。私たちを迎えてくださった先生方、兄弟姉妹方に心からの感謝を覚えつつ、諸教会での奉仕報告と、恵みの証しをさせていただきます。



東海キャラバン伝道の恵み

3年生 平松 契

感謝しつつ、キャラバン伝道を通して受けた恵みをお証しいたします。

キャラバン中、多くの教会が私達神学生を招いてくださり、奉仕の機会を与えて下さいましたが、どの教会に行っても、同じように主が教えてくださることがありました。それは、先生方をはじめ多くの教会員の方々が、神学校の為、神学生の為にいつも祈って下さっており、尊い捧げものによって支えて下さっている、という事でした。私は、神学校での学びや訓練を通して、いつの間にか“自らが神といかに向き合うか”という事ばかりを考えていたように思いますが、今回東海キャラバンを通して、「献身は自らのものだけではない」と改めて教えられました。

何よりも大切な事を教えてくださった主に感謝し、また奉仕の機会を与えてくださった東海教区の先生方、そして教会員の方々に心より感謝申し上げます。

2009年度中央聖書神学校入学式

2009年4月7日(火)中央聖書神学校チャペルにて入学式が行われました。

本校では、8日と9日両日に渡り

聖別式と全校断食が行われ、聖霊のご臨在の中で、献身の思いを新たにす恵みの時が与えられました。

新入学生氏名 (出身教会)

本校

大笹 月江 (山手町教会)

岸本 志津乃 (沖縄中央

アッセンブリー教会)

関本 英樹 (十条基督教会)

高山 咲 (札幌神召キリスト教会)

成尾 輝和 (めぐみ福音キリスト教会)

栗屋 信吾 (十条基督教会)

森本 亮介 (東京陽光基督教会)

通信科

馬越 康 (新居浜福音キリスト教)

馬越 聖子 (新居浜福音キリスト教会)

Jefferson 博美 (Westchester Christian

Worship Center)

城市 篤 (八王子基督教会)

都甲 かほる (希望キリスト教会)

森山 香純 (博多ニューライフ伝道所)



本校新入生 献身の証



大笹 月江

主の御名を心から賛美いたします。子供達もそれぞれ独立し、私自身が独身になった折に、牧師先生から「神学校に行ってみたらどうですか。」と言っていたきました。私は、単純にうれしい気持ちでいっぱいになり家族にこのおすすめの言葉を受けたと話したところ、反対する者はおらず、主の憐れみにより、学校からも入学の許可を頂くことができました。生涯主にお仕えできる道が開かれました。事を心から感謝いたします。『兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。』(ピリピ一章十二節)



岸本 志津乃

ある時、私は自分自身を傷つけるという大きな罪を犯してしまいました。大変危険な状態に陥りましたが、一命を取り留める事ができました。そのような中でもう一度、神様と



関本 英樹

27歳の時クリスチャンになった私は聖書を学んでいくうち、この福音を多くの人に伝えたいという気持ちが強くなっていました。その方法を求めて祈っていると、ローマ人への手紙十章十四、十五節『宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。』と、遣わされなくてはならないという聖書箇所が与えられることができました。イエス様は福音を伝えるために私を遣わしてくださるんだという確信をもち、献身を決心しました。献身を決意した後も様々な試練がありましたが、いつも思いもよらない方法で道を切り開いてくださる神様に感謝しています。

の関係をとり戻していくうちに、神様がどんなに私を愛してくださっているかということ、自分が頑張っているのではない、ただ神様の憐れみによって生かされているということを知りました。誰が本当に私達を愛し生かしているのか、誰が心の苦しみを取り去り、癒し平安を与えてくださるのかを伝えていきたいという思いが与えられ献身に導かれました。

2008年度卒業式

3月3日(火) 第59回卒業式が行われました。卒業されて、それぞれの任地で活躍されている6名の先生方に、今後の抱負を伺いました。



☆ 下方 悟 師

東京立川にて開拓

神を愛し、人を愛する。すなわち神に愛される教会。それが私の教会ビジョンです。ただ神さまの栄光を現すために「がむしゃら」に頑張っていきたいと思います。すのでお祈りお願いします。

☆ 田村 敬子 師

神召基督教会

山あり谷ありの神学校生活、ただ主の憐れみと多くの祈りに支えられ今の私がある。日々の生活の中で、忠実に主を証し伝える者になりたい。多く赦され愛され、多く祈られた分、私もそのような者になりたいと心から主に願う。

☆ 藤田 豊樹 師

博多ミューライフ伝道所

私の決意は、不平を言わず逃げないで、主に感謝し仕える事です。引退されたD・スミス師も、

いつ、いかなる時も、主に讃美を捧げていました。私もまた、いつ、いかなる時も、主に喜びを持って仕えて行きたいです。

☆ 久保田 顕 師

篠原教会

私は、一つの事、ひとりの人を大切できる教会(マタイ十八章十四節)また、互いのために祈れる教会、互いを自分の事のように愛する教会となるように、日々神様に願ひ求めています。(ルカ十章二十七節)

☆ 中川 百合 師

十条基督教会

私のビジョンは、海外宣教です。人々と目線を合わせて歩かれたイエス様のように人々と共に歩く伝道者になりたいと思います。また聖書のみことばをどのような時にも正しく語り、聖書に忠実な教会をつくりたいです。

☆ 横山唯一 師

横浜三春台教会

私が主から頂いた使命は、教会に仕え、教会を生かすことです。主は確かに御言葉の通りに「イザヤ四十二章一―四節」の御旨を実現されます。横浜三春台教会が勝利を得るまで走り抜くことができるようお祈りください。



前列右より

久保田 顕 師

藤田 豊樹 師

後列右より

横山 唯一 師

下方 悟 師

田村 敬子 師

中川 百合 師



成尾 輝和
(2学年に編入)

『わたしの目にはあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。』先が見えず何度も立ち止まりそうになっていた私の人生に、主は一筋の光を照らし『わたしのもとへ来なさい』と御手を差し伸べてくださいました。そして今主の約束の御言葉握りながら、その「使命」に応えるべく新たな一歩が踏み出せることを心から感謝します！自分の知恵や能力によるのではなく、いつも霊に燃えて主の通りよき管として用いられる器となれるよう日々祈り歩んでいきたいと思えます。ハレルヤ！すべての栄光を主にお返しします！



高山 咲

私は主イエスから牧師への召命を頂き、その時点では、後は迷うことなく主の召命に応えて一直線に献身への道を突き進めると思っていました。しかし、いざ主の召命に答えて献身するということが現実突きつけられると、私の召命の確信は大きく揺るがされてしまい「私は本当に主に召されているのか」という問いに疲れ切っていました。しかし、主イエスはこのような私を見捨てることなく、ヨハネの福音書の十一章、十九節「わたしに従いなさい」というみことばを与え、祈りの中で、また、牧師や多くの兄弟を通して支え、励まし、導いてくださいました。



栗屋 信吾
(3学年に編入)

自分の克己によって向上し、功を成し、神に評価していただく。それが以前の私にとつてのクリス



森本 亮介

チャンの生き方でした。しかし私を愛する主は、そんな私を助けるのではなく、行き詰まりをお与えになったのです。そして、肉の努力によらず、ただ主の恵みと、聖霊様の力によって歩むことこそ、クリスチャンの生き方であることに目を開かせて下さいました。東京聖書学院を卒業後、留学に備えておりましたが、憚りなく聖霊様の力とお働きについて証しする伝道者となりたいという思いは次第に強くなってきました。主が道を開いてくださり、アッセンブリー教団に移籍させていただいたことに心より感謝しております。

私は小学4年生の時にアメリカで日本人の宣教師を通して救いへと導かれました。昔から転勤と海外生活、引越しが多かったこともあり、その後様々な教会に今

日まで通い続けましたが、このたびアッセンブリー教団に入団し、CBCに入学できましたことを非常に嬉しく思っています。私は将来、海外に住む日本人に福音を述べ伝え、海外での礼拝を持ちたいと思っています。特にアジア方面に関心があり、日本語と英語(妻の中国語)を今後、主の働きのために国際的な場で活かしていきたいと思っています。



前列右から

森山姉、馬越姉

岸本姉、大笹姉

都甲姉、高山姉

後列右から

城市兄、馬越兄

森本兄、関本兄

栗屋兄、成尾兄

2008 年度 中央聖書神学校 後援会 会費納入者名

2008 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日

法人教会及び関係施設 一口 10,000

個人会員 一口 5,000

(各・敬称省略)

札幌神召教会 下道定身 5,000	江戸川台利社 10,000 重本操 5,000	川崎中央 佐藤昭雄 5,000 佐藤みつ子 5,000	新大阪第一 西海栄悦 5,000	明石 教会 100,000	嘉手納教会 池原信徳 5,000 池原厚子 5,000
山手町教会 大坂克典 5,000	千葉福音 柏崎みせ 5,000	新中野教会 10,000 藤井敬朗 5,000	泉佐野福音 10,000	新浜福音教会 10,000 楠 章三 5,000	CBC 卒業者 他 円山茂治 5,000
仙台神召教会 50,000	北越谷クリスト 10,000 多田睦夫 10,000	昭島キリスト伝 吉野清一郎 5,000 吉野道子 5,000	大坂中央福音 50,000 大塚 学 5,000 河村貞敏 5,000 吉倉正幸 5,000 長澤純一 5,000 義田直己 5,000 榮 善樹 5,000 臼井英勝 5,000 知念紀義 5,000 渡辺宗一郎 5,000 長嶺ミナ子 5,000 亀井操子 5,000 上間セツ子 5,000 山田富子 5,000 越河富美江 5,000 賀 幸宏 10,000 宮崎 悟 5,000	中村福音教会 10,000 丹澤 陸 5,000 丹澤幹子 5,000 松本恭介 5,000 松本加恵 5,000 萩森悦子 5,000 吉岡左恵 5,000 渡辺恭子 5,000 谷 延子 5,000 田野千恵 5,000 山崎由美 5,000 江戸嘉永子 5,000 木村登志 5,000 宮内ゆり 5,000 大原信子 5,000 土佐清水 10,000 竹中通雄 5,000	十字路教会 原田龍三 10,000 明石市 河野文子 5,000
宇都宮栄光 秋本幸二 30,000 菊池 亘 5,000	結城基督教会 10,000 佐藤茂助 5,000 小竹二三 10,000 矢田マキ 5,000 木村千敏夫 5,000 柏 和三 5,000 柏 与志 5,000	徳原教会 佐藤 清 5,000 希望教会 10,000 田村伸治 5,000 桶狭間教会 宮下鶴千代 5,000 浜松教会 30,000 菊池和博・恵子 5,000 名古屋神召 10,000 内村徹母耳 5,000 天塚教会 相原健二 5,000 相原克子 5,000 入善教会 込尾隆義 5,000 福岡町伝道所 三浦金一郎 5,000	尾崎教会 10,000 南紀キリスト 10,000 寺田文雄 5,000	川尻教会 高口喜美男 5,000 佐伯教会 山本久米蔵 5,000 山本茂子 5,000 熊本聖書教会 長澤忠雄 5,000 長澤愛子 5,000	
結城リバイバル 20,000	熊谷福音教会 渡辺正晴 5,000	市川キリスト 10,000 青木三徳 5,000 横浜三春台 5,000 米田秀人・美香 5,000 武蔵野基督 20,000 武蔵野基督 48,000 聖泉幼稚園 20,000 佐藤孝夫 10,000 田中みつほ 5,000 杉浦由利子 5,000 岩本育子 5,000 雅楽川 裕 5,000			
神召教会 60,000	志村教会 40,000	多摩川基督 直井政勝 5,000			
中央福音教会 10,000	十条教会 酒井源治 5,000				
大森園子 5,000 関口尚子 5,000 和田喜久夫 5,000 和田孝子 5,000 谷本吉子 5,000	ベテルキリスト 伊東徳衛 10,000				
めぐみ福音 三宅忠雄 5,000 三宅規之 5,000	めくみ福音 三宅忠雄 5,000 三宅規之 5,000				
C B C 北野耕一 5,000 多賀谷登茂子 5,000					
290,000	238,000	130,000	175,000	235,000	30,000
					合計 1,098,000

法人 24 578,000 個人 520,000 献金 0 特別献金 0

後援会 会長・多田睦夫 書記・菊池 亘 会計・伊東徳衛

監査・河村貞敏 金木光世

後援会入会のご案内

～献げる喜び、支える喜びを共に～

2009年4月7日、中央聖書神学校では、7名の本科生、6名の通信科の方々を迎えて入学式が持たれました。緊張した面持ちで席に着いている様子は微笑ましくもありますが、次代を担う頼もしい献身者の方々に相違有りません。ある方は3年、またある方は4年の期間を駒込山の中央聖書神学校で過ごされます。短いようで長い学びと訓練の時です。受け入れられる校長はじめ、教師の方々も喜びと希望を持ってのスタートです。

さて、13の教会でスタートした日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団も、いまや200を超える教会・伝道所を数えるまでに成長させて頂きました。その原動力は“権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。”（ゼカリヤ5:6）と宣言される神の導きと助けがあったことは勿論ですが、中央聖書神学校の大きな貢献があったこともまた周知の通りであります。その陰には全国諸教会並びに信徒の方々の絶えざる祈りがあったこと、いや、今も祈り続けられていることを忘れることはできません。この、教団・教区・教会並びに信徒の方々が、主のご命令である“全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。”（マルコ16:15）とのみことばに従い、前進するためには何としても献身者が起こされ、学びと訓練に与って送り出される伝道者たちが必要なのです。世界は終末の様相を色濃く現しています。畑は色づき、まさに刈り入れの時なのです。

献身者の方々を受け入れ、送り出す中央聖書神学校には経済的裏付けも必要であります。教団は精一杯の予算措置を行っておりますが、十分とはいえないのです。そこで、全国の諸教会並びに信徒の方々が祈りの細胞の一員として、中央聖書神学校後援会にご入会頂き、会費（法人・教会・諸団体は年額一〇万円、個人年額一〇五千元）をお献げ頂きますならば、大きな助けとなるのです。

現在は百五十万円を目標に掲げ、活動致しておりますが、まだ、周知徹底には至らず、申し訳なく存じております。何卒、趣旨にご賛同頂き、ご入会頂きたくご案内申し上げる次第です。すでに多くの方々がご加入くださった教会もあります。その一方で、“私たちは知りませんでした。”と言われる教会や信徒の方々もおありかと思えます。これを機に新しく入会なさる方々が起こされますよう期待し、お待ち致しております。新たに一教会平均二名の方々のご入会が有りましたら、四百名の会員増となることでしょう。是非、共に捧げる喜び、支えさせて頂く喜びを共有させて頂きたいと願っております。

中央聖書神学校後援会会長 多田 睦夫
書記 菊地 亘
会計 伊東 徳衛

目を上げて畑を見なさい。

色づいて、刈り入れるばかりになっています。

ヨハネ4:35

申し込み・お問い合わせ先

中央聖書神学校事務局

TEL03-3918-4925